

四国らしい道路整備（四国スタンダード）について



-
- ・日時：平成16年8月19日 15:00～
 - ・場所：マリnpales讃岐

目的

本指針は、地域の人々にいつまでも親しまれ、愛される、四国にふさわしい社会資本の整備・管理に関する**四国内の統一ルール**を定め、個性ある豊かな四国らしい地域づくりに貢献することを目的とする。活力と魅力にあふれた自立する四国をこれらの社会資本によって支えていくことを目的とする。

3つの目標

景観の保全と創造

豊かで魅力溢れる景観を保全し、向上させるため、四国における社会資本の整備、管理にあたっては、景観に配慮しなければならない。

自然・環境の維持と創出

自然環境を良好に維持するとともに、新たな魅力を創出するため、四国における社会資本の整備、管理にあたっては、四国産の材料や自然材、リサイクル材等の使用、緑化等に配慮しなければならない。

安全・安心でいきいきとした暮らしの実現

安全・安心でいきいきとした暮らしの実現のため、四国における社会資本の整備、管理にあたっては、高齢者や来訪者などの視点にも配慮しなければならない。

検討内容

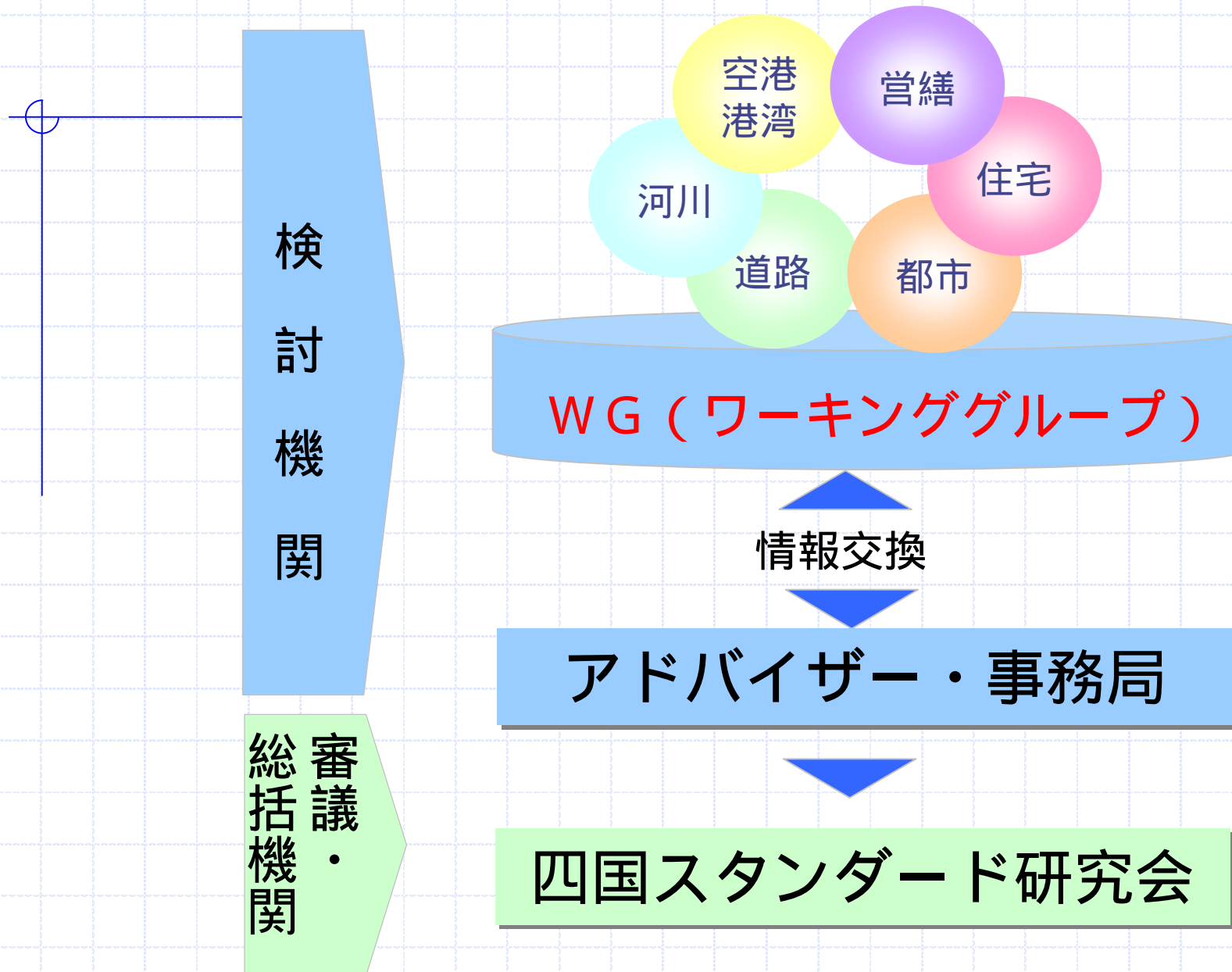
- ・ 四国スタンダードの目標及び方針を実行にうつすための具体的な手法（ルール、基準、実施）を検討する。
- ・ 四国スタンダードとしての具体的なルール・基準の策定と実施に向けた制度や取り組み方法について検討する。

検討項目

四国スタンダードとしての各部門における具体的なルール等

各部門の枠組みを超えた横断的な取り組み事項等

四国スタンダードを効果的、継続的に運用する仕組み



(3) 四国スタンダードの考え方

3つの目標を目指し、四国地方整備局と四国4県が社会資本整備を進める上で合意したルール

合意することにより取り組み可能なものはすべて四国スタンダード

四国スタンダードの内容

〔理念・目標が合意すれば取り組める項目〕

検討項目



理念目標で合意



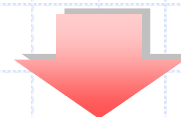
取り組み

〔基準・適応範囲等が合意すれば取り組める項目〕

検討項目



理念・目標



基準・適用範囲等の合意



取り組み



四国スタンダード



道路WGにおける検討について

《四国らしい道路整備とは？》

道路整備は単に機能のみを追求するのではなく、地域に根付き、親しまれ、愛される必要がある

四国は、四面を海に囲まれ、豊かな自然の中で歴史と文化を育んできた

四国に真にふさわしいものとの思想のもと、個性ある豊かな地域づくりに貢献していく道路整備とはどのようなものか

《四国らしい道路整備のキーワード(例)》

お遍路
癒しの国

道路WGにおける検討項目の全体構成イメージ

1 . 車道・歩道の幅員

歩行空間の確保 / 1.5車線の道路整備

2 . 道路本体構造の設計

切土 / トンネル / 橋梁・高架橋 / 平面交差点 /
立体交差点 / 横断歩道橋 / 地下横断歩道 / 遮音壁

3 . 舗装の設計

車道部 / 歩道部 / 視覚障害者誘導用ブロックの設置

4 . 道路付属物等の設置

休憩施設 / バス停 / 防護柵・横断防止柵 / 標識（地点シート）

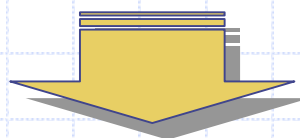
5 . 材料

舗装材に再生骨材を使用

道路WGの検討の方向性（第1回道路WGの結果）

《第1回WGの検討内容》

- 「四国スタンダード」とする検討項目の抽出
- ・ 四国には四国特有のお遍路がある
 - ・ 「四国のみち」があり、地点シート、防護柵、ボランティアなどの取り組みが進んでおり、実現しやすい
 - ・ 歩行者の「移動性」「利便性」「快適性」がポイント



《検討の方向性》

歩行者の視点に立った道づくり
(標識、舗装など)

道路WGの検討項目の例：「移動性」 - (舗装)

《理念・目標》

高齢者を含めたすべての人々が、安全・安心に歩ける道づくり
歩きやすさを確保した上で、周辺景観と調和を図った道づくり

《適用範囲》

すべての国道及び県道を対象

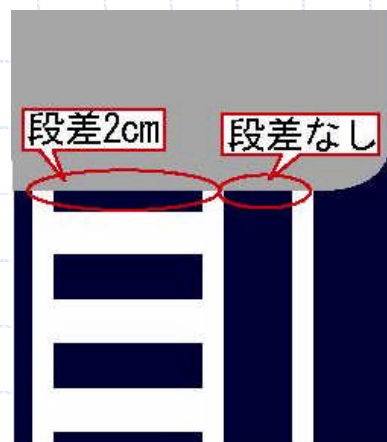
《基準》

歩道舗装は透水性の機能をもつ舗装材を採用
歩車道境界部の段差は、歩行者横断帯は2cm、自転車横断帯は段差なし
景勝地や歴史的街並みの道路では、沿道景観に調和した材質、色彩を採用

《整備イメージ》



透水性舗装



歩車道境界部段差処理の方法(案)



景観に配慮された道

道路WGの検討項目の例：「利便性」 - (標識：地点シート)

《理念・目標》

県境をへだてても、混乱をきたさないよう統一した標識
外国人を含む道路利用者に対し、安心感の確保や情報提供

《適用範囲》

すべての国道及び県道を対象

《基準》

設置箇所は、照明柱、ガードレール、ガードパイプ等の既存の施設
四国八十八カ寺の寺名や方向を表記
札所の番号は外国人にもわかりやすいアラビア数字

《整備イメージ》



地点シート

道路WGの検討項目の例：「快適性」 - (木製防護柵)

《理念・目標》

景観的に改善するとともに、間伐を促進し環境保全としての役割

《適用範囲》

すべての国道及び県道を対象

《基準》

新設更新において、木製防護柵の構造的特性を理解し、積極的に活用
連続性・一体性に配慮
標準図等を掲載した設置要綱等の策定

《整備イメージ》



車両用木製防護柵（豊浜町）



中央分離帯に設置された木製
横断防止柵（高松市）

道路WGの今後の予定

道路WG開催予定

主な議論の内容

第2回

10月上旬予定



四国スタンダードの検討項目の決定
各項目の具体的な検討（適用範囲、基準）

第3回

11月下旬予定



四国スタンダード（道路部門）のとり
まとめ（平成16年度版）